



## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)

KS-702

製造元

会社名

信越化学工業株式会社

連絡先

群馬事業所 品質保証部

住所

〒379-0195 群馬県安中市磯部2-13-1

電話番号

027-385-2172

ファックス番号

027-385-2753

供給元

会社名

信越化学工業株式会社

連絡先

シリコン事業本部 総括部

住所

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1

電話番号

03-3246-5121

ファックス番号

03-3246-5381

緊急連絡先

027-385-2172 (休日・夜間: 027-385-2111)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

離型剤・剥離紙用離型剤  
ゴム成形用離型剤

使用上の制限

一般工業用

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体

区分3

健康に対する有害性

急性毒性 (吸入)

区分4

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

区分2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

区分2

生殖毒性

区分1B

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

区分2 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器)

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

区分3 気道刺激性

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

区分3 麻酔作用

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

区分2 (中枢神経系, 肺, 神経系, 呼吸器)

吸引力呼吸器有害性

区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性)

区分2

水生環境有害性 (長期間)

区分2

\*記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気。吸入すると有害。皮膚刺激。強い眼刺激。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。臓器 (中枢神経系, 腎臓, 肝臓, 呼吸器) の障害のおそれ。呼吸器への刺激のおそれ。眠気又はめまいのおそれ。長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (中枢神経系, 肺, 神経系, 呼吸器) の障害のおそれ。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること/アースをとること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。環境への放出を避けること。

<b>応急措置</b>	火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。漏出物を回収すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
<b>保管</b>	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。施設して保管すること。
<b>廃棄</b>	内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理すること。
<b>想定される非常事態の概要</b>	熱、火花または炎で発火する可能性がある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。吸入すると有害。臓器の障害のおそれ。眠気やめまいのおそれ。強い眼刺激。皮膚刺激。呼吸器系に刺激を起こすことがある。生殖に影響を与えることがある。水路に排出されると環境に対して有害である。

### 3. 組成、成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

混合物  
(シリコーン溶液)

成分	官報公示整理番号			
	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
石油ナフサ(トリメチルベンゼン, プロピルベンゼン, ノナン, キシレン, エチルベンゼン等を含有する。)	64742-82-1	(9)-1694	(9)-1700	95 - 100

化審法；全成分登録済保証。

### 4. 応急措置

<b>吸入した場合</b>	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて酸素吸入または人工呼吸を行う。被害者が物質を吸入した場合、マウスツーマウス蘇生法を行ってはならない。一方方向付き携帯マスクまたは適切な呼吸医療機器を使用して人工呼吸を行う。気分が悪いときは医師に連絡すること。
<b>皮膚に付着した場合</b>	汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を石鹼と水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
<b>目に入った場合</b>	直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。
<b>飲み込んだ場合</b>	口をすすぐこと。嘔吐させないこと。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。直ちに医師の手当てを受けること。
<b>応急措置をする者の保護</b>	直ちに汚染された衣服を脱がせる。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
<b>医師に対する特別な注意事項</b>	症状に応じて処置すること。

### 5. 火災時の措置

<b>消火剤</b>	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2)。
<b>使ってはならない消火剤</b>	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、やってはならない。
<b>火災時の特有の危険有害性</b>	加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。
<b>特有の消火方法</b>	火災や爆発の場合、ヒュームを吸入してはならない。もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。流出水は環境に有害性の懸念あり。
<b>消火を行う者の保護</b>	消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。

### 6. 漏出時の措置

<b>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</b>	関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。流出物質に触ったり、踏んだりしない。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。適切な保護具を着用する。
<b>環境に対する注意事項</b>	安全を確認してから、流出防止の措置をとる。環境への放出を避けること。
<b>封じ込め及び浄化の方法及び機材</b>	全ての着火源を取り除く（その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止）。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。  大量の漏出：危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。  少量の漏出：布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。  元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策（局所排気、全体換気等）

製品を取り扱う時に使用するすべての装置は、接地しておく必要がある。火花を発生させない工具および防爆型装置を使用する。適切な換気を行う。

#### 安全取扱い注意事項

取扱い/保管は慎重に行うこと。使用前に取扱説明書入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。禁煙。静電気の放電防止策を施す。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。適切な保護具を着用すること。使用中は飲食や喫煙をしないこと。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。排水路に流してはならない。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。長時間の暴露を避けること。

#### 接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

#### 適切な衛生対策

使用中は飲食や喫煙をしない。眼に入らないようにする。皮膚に触れないようにする。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

### 保管

#### 安全な保管条件

施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。

#### 安全な容器包装材料

元の容器で保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

#### 作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分	タイプ	数値
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	管理濃度	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	管理濃度	50 ppm

#### 日本産業衛生学会—許容濃度

成分	タイプ	数値
1, 2, 3-トリメチルベンゼン (CAS 526-73-8)	TWA	120 mg/m3
		25 ppm
1, 2, 4-トリメチルベンゼン (CAS 95-63-6)	TWA	120 mg/m3
		25 ppm
1, 3, 5-トリメチルベンゼン (CAS 108-67-8)	TWA	120 mg/m3
		25 ppm
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	217 mg/m3
		50 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	TWA	217 mg/m3
		50 ppm
ノナン (CAS 111-84-2)	TWA	1050 mg/m3
		200 ppm

#### ACGIH

成分	タイプ	数値
1, 2, 3-トリメチルベンゼン (CAS 526-73-8)	TWA	25 ppm
1, 2, 4-トリメチルベンゼン (CAS 95-63-6)	TWA	25 ppm
1, 3, 5-トリメチルベンゼン (CAS 108-67-8)	TWA	25 ppm
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	STEL	150 ppm
	TWA	100 ppm
クメン (CAS 98-82-8)	TWA	50 ppm
ノナン (CAS 111-84-2)	TWA	200 ppm
石油ナフサ (CAS 64742-82-1)	TWA	100 ppm

## 生物学的限界値

日本産業衛生学会－生物学的許容値  
成分 数値

キシレン (CAS 1330-20-7) 800 mg/l

## 決定要因

総メチル馬尿酸  
(o-, m-, p-三  
異性体の総和)

## 標本

尿

## サンプル採取時間

\*

\* - サンプルングの詳細については原資料をご参照下さい。

## ACGIH生物学的許容値

## 成分 数値

エチルベンゼン (CAS 100-41-4) 0.15 g/g

## 決定要因

Sum of  
mandelic acid  
and  
phenylglyoxyl  
ic acid

## 標本

尿中クレア  
チニン

## サンプル採取時間

\*

キシレン (CAS 1330-20-7) 1.5 g/g

メチル馬尿酸

尿中クレア  
チニン

\*

\* - サンプルングの詳細については原資料をご参照下さい。

## 設備対策

防爆型の全体および局所排気型換気装置。洗眼設備を設置する。

## 保護具

## 呼吸器の保護具

作業者が暴露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。

## 手の保護具

保護手袋を着用すること。

## 目の保護具

側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 外観

## 形状

液体

## 色

無色 透明

## 臭い

溶剤臭

## pH

測定不可（水溶解性を参照すること）

## 融点 / 凝固点

データなし

## 沸点、初留点と沸騰範囲

データなし

## 引火点

43 ° C (109.4 ° F) (密閉式)

## 自然発火温度 (発火点)

&gt; 200 ° C (&gt; 392 ° F)

## 燃焼又は爆発範囲－下限

0.7 % v/v [石油ナフサ]

## 燃焼又は爆発範囲－上限

6.5 % v/v [石油ナフサ]

## 蒸気圧

&lt; 1.3 kPa ( 25 ° C ) [石油ナフサ]

## 蒸気密度

&gt; 1 (空気=1.0) [石油ナフサ]

## 蒸発速度

&lt; 1 (酢酸ブチル=1.0) [石油ナフサ]

## 比重 (相対密度)

0.82 ( 25 ° C )

## 溶解性 (水)

不溶

## n-オクタノール／水分配係数

該当せず

## 分解温度

データなし

## 粘度

データなし

## 分子量

該当せず

## 10. 安定性及び反応性

## 反応性

通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない。

## 化学的安定性

通常条件では安定。

## 危険有害反応可能性

危険な重合は起こらない。

## 避けるべき条件

特になし。

## 混触危険物質

強酸化剤。

## 危険有害性分解生成物

加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。  
一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。ホルムアルデヒド。

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

成分	種	試験結果
1, 2, 4-トリメチルベンゼン (CAS 95-63-6)		
急性 吸入		
LC50	ラット	> 2000 ppm, 48 hr
経口		
LD50	ラット	6 g/kg
経皮		
LD50	ウサギ	> 3160 mg/kg
1, 3, 5-トリメチルベンゼン (CAS 108-67-8)		
急性 経口		
LD50	ラット	8970 mg/kg
Propylbenzene (CAS 103-65-1)		
急性 経口		
LD50	ラット	6040 mg/kg
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		
急性 経口		
LD50	ラット	3500 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	17800 mg/kg
キシレン (CAS 1330-20-7)		
急性 吸入		
LC50	マウス	3907 ppm, 6 hr
	ラット	6350 ppm, 4 hr
経口		
LD50	マウス	1590 mg/kg
	ラット	3523 - 8600 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	> 43 g/kg
クメン (CAS 98-82-8)		
急性 吸入		
LC50	マウス	2000 ppm, 7 hr
		24.7 mg/l, 2 hr
	ラット	8000 ppm, 4 hr
経口		
LD50	ラット	1400 mg/kg
ノナン (CAS 111-84-2)		
急性 吸入		
LC50	ラット	3200 ppm, 4 hr
蒸気		
LC50	ラット	3200 ppm, 4 hr
石油ナフサ (CAS 64742-82-1)		
急性 吸入		
LC50	ラット	61 mg/l, 4 hr
経口		
LD50	ラット	> 25 ml/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚刺激。 [1, 2, 4-トリメチルベンゼン] [1, 3, 5-トリメチルベンゼン] [ノナン] [キシレン]	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	強い眼刺激。 [1, 2, 4-トリメチルベンゼン] [ノナン] [キシレン] 眼刺激。 [1, 3, 5-トリメチルベンゼン] [エチルベンゼン] [クメン]	
発がん性	発がんのおそれの疑い。 [エチルベンゼン] [クメン]	

**ACGIH発がん性物質**

エチルベンゼン (CAS 100-41-4)

A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)

キシレン (CAS 1330-20-7)

A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

**IARC発がん性評価モノグラフ**

エチルベンゼン (CAS 100-41-4)

2B ヒトに発がん性の可能性がある。

キシレン (CAS 1330-20-7)

3 ヒトへの発がん性を分類できない。

クメン (CAS 98-82-8)

2B ヒトに発がん性の可能性がある。

石油ナフサ (CAS 64742-82-1)

3 ヒトへの発がん性を分類できない。

**日本産業衛生学会 - 発がん性物質**

エチルベンゼン (CAS 100-41-4)

2B ヒトに発がん性の可能性がある。

**NTP発がん性物質レポート**

クメン (CAS 98-82-8)

合理的にヒトに発がん性があると予測される物質

**生殖毒性**

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。 [キシレン] [エチルベンゼン]

**特定標的臓器毒性 (単回暴露)**

下記の臓器に影響を与える可能性がある。  
 気道刺激性。麻酔作用。 [1, 2, 4-トリメチルベンゼン]  
 気道刺激性。 [プロピルベンゼン]  
 気道刺激性。麻酔作用。 [1, 3, 5-トリメチルベンゼン]  
 中枢神経系。気道刺激性。麻酔作用。 [ノナン]  
 気道刺激性。麻酔作用。 [1, 2, 3-トリメチルベンゼン]  
 中枢神経系。腎臓。肝臓。呼吸器。麻酔作用。 [キシレン]  
 中枢神経系。気道刺激性。 [エチルベンゼン]  
 中枢神経系。腎臓。肝臓。気道刺激性。麻酔作用。 [クメン]

**特定標的臓器毒性 (反復暴露)**

長期にわたるまたは反復暴露により下記の臓器に影響を与える可能性がある。  
 中枢神経系。肺。 [1, 2, 4-トリメチルベンゼン]  
 呼吸器。神経系。 [キシレン]  
 聴覚器。 [エチルベンゼン]

**吸引性呼吸器有害性**

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
 [石油ナフサ] [1, 2, 4-トリメチルベンゼン] [プロピルベンゼン]  
 [1, 3, 5-トリメチルベンゼン] [ノナン] [キシレン] [エチルベンゼン] [クメン]

**12. 環境影響情報**

**環境影響データ**

成分	種	試験結果
1, 2, 4-トリメチルベンゼン (CAS 95-63-6)		
水生		
魚類	LC50	ファットヘッドミノー (Pimephales promelas) 7.72 mg/l, 96 hr
1, 3, 5-トリメチルベンゼン (CAS 108-67-8)		
水生		
魚類	LC50	金魚 (カラシマス オーラタス) 9.89 - 15.05 mg/l, 96 hr
Propylbenzene (CAS 103-65-1)		
水生		
魚類	LC50	ニジマス (Oncorhynchus mykiss) 1.55 mg/l, 96 hr
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		
水生		
魚類	LC50	アトランティック シルバーサイド (Menidia menidia) 5.1 mg/l, 96 hr
甲殻類	EC50	オオミジンコ 1.37 - 4.4 mg/l, 48 hr
キシレン (CAS 1330-20-7)		
水生		
魚類	LC50	ニジマス (Oncorhynchus mykiss) 6.702 - 10.032 mg/l, 96 hr
クメン (CAS 98-82-8)		
水生		
魚類	LC50	ニジマス (Oncorhynchus mykiss) 2.7 mg/l, 96 hr
甲殻類	EC50	Brine shrimp (Artemia sp.) 3.55 - 11.29 mg/l, 48 hr
石油ナフサ (CAS 64742-82-1)		
水生		
魚類	LC50	ニジマス (Oncorhynchus mykiss) 8.8 mg/l, 96 hr
甲殻類	EC50	ミジンコ (ダフニア プレクス) 2.7 - 5.1 mg/l, 48 hr

**生態毒性** 水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。[ノナン]  
水生生物に毒性。[キシレン]  
水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に毒性。  
[1,2,4-トリメチルベンゼン] [プロピルベンゼン] [1,3,5-トリメチルベンゼン]  
水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に毒性。[クメン]  
水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に有害。[エチルベンゼン]

### 13. 廃棄上の注意

#### 地域の廃棄規制

焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水や給水設備に流さないこと。内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

##### IATA

UN number	UN1866
UN proper shipping name	Resin solution flammable
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary risk	-
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	3L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

##### IMDG

UN number	UN1866
UN proper shipping name	RESIN SOLUTION flammable
Transport hazard class(es)	
Class	3
Subsidiary risk	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-E, S-E
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送一般情報

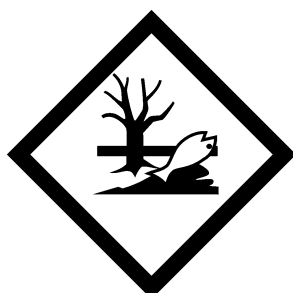
本製品は、ばら積み輸送用ではありません。

IMDGに定める海洋汚染物質。

#### IATA; IMDG



#### 海洋汚染物質



#### 国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

#### 緊急時応急措置指針番号

128

## 15. 適用法令

## 労働安全衛生法

危険物 引火性の物

## 特化則

第一類物質  
該当せず第二類物質  
エチルベンゼン第三類物質  
該当せず

## 有機則

第一種有機溶剤  
該当せず第二種有機溶剤  
該当せず第三種有機溶剤  
ミネラルスピリット

## 通知対象物

エチルベンゼン 0.50 - 1.0 %

ミネラルスピリット 55 - 60 %

ノナン 1.0 - 5.0 %

トリメチルベンゼン 25 - 30 %

キシレン 1.0 - 5.0 %

## 表示対象物

エチルベンゼン

ミネラルスピリット

ノナン

トリメチルベンゼン

キシレン

## 毒物及び劇物取締法

特定毒物  
該当せず毒物  
該当せず劇物  
該当せず

## 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質  
該当せず第二種特定化学物質  
該当せず監視化学物質  
該当せず優先評価化学物質  
1, 2, 4-トリメチルベンゼン  
エチルベンゼン  
キシレン  
クメン

## 化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)  
該当せず第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)  
1, 2, 4-トリメチルベンゼン 政令番号 296 18 %  
1, 3, 5-トリメチルベンゼン 政令番号 297 5.0 %  
キシレン 政令番号 80 1.0 %第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)  
該当せず

## 消防法

第四類第二石油類(非水溶性液体) 危険等級III

船舶安全法・危規則 引火性液体類

航空法・施行規則 引火性液体類

火薬類取締法 該当せず

高压ガス保安法 該当せず

海洋汚染防止法 海洋汚染物質



## 16. その他の情報

### 引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank  
IARC発がん性評価モノグラフ  
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens  
ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices  
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告  
JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学品の分類方法  
JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)  
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常取扱いにおいて適用した方が良いと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

### 版番号

03

### 改訂日

2017/01/12